

# DH（指名打者）のルールについて

令和4年4月11日

第57回山形実業人野球大会事務局

第57回山形実業人野球大会事務局はDH（指名打者）のルールを次のように定める。

- ① DHを採用する際は試合前のメンバー交換時にその旨をメンバー表に記す。  
試合途中からの採用はできない。また、DHは相手チームの先発投手に対して、少なくとも1度は打撃を完了しなければ交代できない（先発投手が交代したときを除く）。
- ② DHの採用は投手（先発、リリーフ）に代わって打席に立つ打者のみとする。  
※先発、救援がいずれも打席に立たず、代わってDHが打席に入る場合のみ。
- ③ DHの選手が守備につくことはできるが、それ以後のDH制は解除される。  
打撃順はそのまま引き継がれる。  
例1) DHが投手になる場合 ⇒ 守備位置：投手、打撃順：DHの打撃順  
例2) DHが野手になる場合 ⇒ 守備位置：野手、打撃順：DHの打撃順  
⇒ 退いた野手の打順に投手が入る
- ④ DHに代わって守備についている投手が打席に入るか、他の守備についた場合は、それ以後のDH制は解除される。その際、打撃順は退いた守備者のものを引き継ぐ。
- ⑤ DHに代打を使ったり、あるいは代走を使ったりしてもよい。代打者、代走者とその打撃順を引き継ぐ。退いたDHは再び試合に出場できない。
- ⑥ 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になれば、それ以後DHは解除される。代わって入った選手がDHの打撃順を引き継ぐ。

(事例1)

1番にDHでAが入り、B投手が先発。途中、B投手が一塁を守り、C一塁手が登板した場合、DH制は解除され、1番にB選手が入る。Aは退くことになる。

(事例2)

1番にDHでAが入り、B投手が先発。途中、Aが一塁の守備についた場合、DH制は解除され、B投手は一塁手の打順に入る。一塁手は退くことになる。

(事例3)

1番にDHでAが入り、B投手が先発。途中、B投手が一塁の守備につき、一塁手Cが投手、Aが外野を守った場合、1番Aの打順はそのまま、Bは退いた外野手が打っていた打順に入る。